



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 デサント

コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 悦朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役スタッフ部門長 (氏名) 石本 雅敏

TEL 06-6774-0362

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	39,940	6.9	2,226	31.6	2,268	27.7	1,458	8.5
23年3月期第2四半期	37,377	1.2	1,691	1.4	1,776	1.8	1,344	28.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,758百万円 (134.5%) 23年3月期第2四半期 750百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	19.36	—
23年3月期第2四半期	17.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	64,990	42,804	65.9
23年3月期	64,056	41,573	64.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 42,804百万円 23年3月期 41,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	8.2	4,500	16.6	4,500	12.2	2,700	4.7	35.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	76,924,176 株	23年3月期	76,924,176 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,566,892 株	23年3月期	1,564,384 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	75,358,784 株	23年3月期2Q	75,383,457 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 販売実績	12
(2) 海外売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の海外経済は、欧州の債務問題や米国の景気減速懸念の高まりに加え、中国、インドなどの新興国にも景気の変調がみられ、楽観出来ない状況であります。わが国経済は、東日本大震災による復興需要の本格化が内需を押し上げていますが、急激な円高により先行きの不透明感が続いております。

当スポーツ業界におきましては、震災後の自粛ムードが次第に和らぎ、個人消費は回復基調に向かうと思われましたが、長引く円高により個人消費に力強さが加わらない状況となりました。

このような状況の中、当社グループは前期を初年度とする中期3ヶ年経営計画「Compass2010」の達成に向けて、当期も引き続き各種政策を押し進めております。

ブランドマーケティングでは、新規に「カルバン・クライン ゴルフ」を日本・中国・香港・マカオ・台湾においてこの秋冬シーズンから展開致しました。2012年春夏シーズンから韓国での展開を始め、最終的には11の国と地域で展開を予定しております。

販売活動では、国内におきましては、引き続き各流通政策に基づいて収益構造の改善を図るとともに、海外販売力強化を目的に国内組織を再編成し、「海外事業部」を「海外セールス部門」に改組致しました。海外におきましては、台湾市場での売上拡大を目指し、長年のパートナーである満心企業股份有限公司に資本参加することに致しました。昨年設立したシンガポールデサント株式会社では、5月にシンガポール高島屋に「マンシングウェア」「ルコックスポルティフ(ゴルフ)」の各1号店を、また、7月には総合リゾートホテル「マリーナベイサンズ」に「マンシングウェア」の旗艦店をオープン致しました。韓国および中国におきましても、引き続き各ブランドの積極的な店舗展開を実施しております。

広告・販促活動では、国内におきましては、群馬県のみなかみ町と地方自治体との初めての官民コラボレーションとなる「みなかみデサントスポーツタウンプロジェクト」を立ち上げました。「第54回デサント藤原湖マラソン」への特別協賛をはじめ、今後もイベントの協賛などを通じ、スポーツを通じたまちづくりの振興を応援し、子供から大人まで楽しめる健康的なライフスタイル提案を行ってまいります。9月には恒例の女子プロゴルフトーナメント「第42回マンシングウェアレディース東海クラシック」を開催致しました。海外におきましては、韓国で男子プロゴルフトーナメント「マンシングウェアチャンピオンシップ」の開催や「ルコックスポルティフ(ゴルフ)」でアイドル歌手「ユイ」さんをモデルに起用するなど、各展開ブランドにおいて積極的なプロモーション活動を実施しております。

社会貢献活動では、子供たちにスポーツの楽しさを伝える場の提供として2004年から実施している「2011デサントキッズスポーツ教室(サマー)」を7月に開催致しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比6.9%増の39,940百万円となり、営業利益は2,226百万円、経常利益は2,268百万円、四半期純利益は1,458百万円となりました。

なお、5ページに記載の「会計方針の変更」のとおり、在外子会社等の収益及び費用の円貨への換算方法の変更により、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度について四半期連結財務諸表及び連結財務諸表への遡及適用を行っており、遡及処理後の数値で当四半期連結累計期間の比較・分析を行っております。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

アスレチック事業は堅調に推移し、ゴルフ事業とアウトドア事業は低調に推移しました。結果、売上高は前年同四半期比1.4%減の28,090百万円、セグメント利益は1,403百万円となりました。

(アジア)

アスレチック事業とアウトドア事業は好調に推移し、ゴルフ事業は順調に推移しました。結果、売上高は前年同四半期比33.7%増の11,839百万円、セグメント利益は915百万円となりました。

(北米)

北米ではスキーウェアを中心としたアウトドア事業を行っております。売上高は9百万円、セグメント損失は105百万円となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

国内市場においては、サッカー競技者のみならず一般消費者の認知度が向上したことにより「アンブロ」が好調に、「デザート」、「ルコックスポルティフ」は引き続き堅調に推移しましたが、競技水着の販売不振により「アリーナ」が減収となりました。アジア市場においては、現地企画商品および日本企画との連動商品が功を奏し、「デザート」、「ルコックスポルティフ」が好調に推移しました。結果、売上高は前年同四半期比13.0%増の22,831百万円となりました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

国内市場においては、ブランド認知向上により「ランバンスポール」、「カッターアンドバック」が好調に推移し、また「ルコックスポルティフ」は機能商品の展開により順調に推移しましたが、「マンシングウェア」は減収となりました。アジア市場においては、アスレチックウェアと同様に各企画が功を奏し、「マンシングウェア」、「ルコックスポルティフ」が好調に推移しました。結果、売上高は前年同四半期比0.6%増の14,946百万円となりました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

国内市場においては、登山ブームを背景に、引き続き「マーモット」が好調に推移しましたが、海外市場においては、欧州におけるスキーウェアの受注不振により、低調に推移しました。結果、売上高は「ホールアース」の販売中止による売上減も含め、前年同四半期比6.8%減の2,161百万円となりました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は64,990百万円となり、前連結会計年度末に比べ934百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ734百万円増加し、48,981百万円となりました。これは受取手形及び売掛金の増加445百万円、商品及び製品の増加388百万円が主なものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ199百万円増加し、16,009百万円となりました。

負債合計は、22,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ296百万円減少しました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ406百万円減少し、18,218百万円となりました。これは支払手形及び買掛金の減少810百万円が主なものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ109百万円増加し、3,968百万円となりました。

純資産合計は42,804百万円となりました。株主資本合計は44,402百万円となりました。その他の包括利益累計額合計は△1,598百万円となりました。

以上より、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.0%増の65.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前第2四半期連結累計期間に比べ3,901百万円増加し、17,880百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,268百万円、減価償却費501百万円の計上などがありましたが、売上債権の増加額431百万円に加え、たな卸資産の増加額218百万円、法人税等の支払額737百万円、仕入債務の減少額865百万円などがあり、1,149百万円の収入超過（前第2四半期連結累計期間は、335百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、大阪新オフィスビル建築資金の支払、直営店及び百貨店等における売場資産の取得などにより、685百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は、495百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額527百万円などにより、584百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は、527百万円の支出超過）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社は引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。

通期業績につきましては、当第2四半期の実績を勘案し、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の業績予想を下記のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 81,000	百万円 4,000	百万円 4,000	百万円 2,500	円 銭 33.17
今回修正予想 (B)	83,000	4,500	4,500	2,700	35.83
増減額 (B - A)	2,000	500	500	200	—
増減率 (%)	2.5	12.5	12.5	8.0	—
前期実績 (平成23年3月期)	76,722	3,860	4,010	2,577	34.20

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

在外子会社等の収益及び費用は、従来、当該子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により換算する方法に変更しております。この変更は、収益及び費用の換算について、在外子会社の重要性が増加する中、近年の著しい為替相場の変動により期末時点で受ける一時的な為替相場変動の影響を緩和し、より実態に応じた企業状況を表示するために行ったものであります。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の売上高は644百万円増加し、営業利益は44百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ28百万円増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は176百万円増加しております。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,212	18,059
受取手形及び売掛金	15,745	16,190
商品及び製品	12,142	12,531
仕掛品	75	80
原材料及び貯蔵品	384	376
その他	1,726	1,791
貸倒引当金	△41	△47
流動資産合計	48,247	48,981
固定資産		
有形固定資産	9,249	9,596
無形固定資産	697	646
投資その他の資産		
その他	6,081	5,997
貸倒引当金	△219	△231
投資その他の資産合計	5,861	5,765
固定資産合計	15,809	16,009
資産合計	64,056	64,990
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,762	12,952
未払法人税等	731	835
賞与引当金	774	779
返品調整引当金	386	383
その他	2,969	3,268
流動負債合計	18,624	18,218
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
退職給付引当金	872	959
その他	1,486	1,508
固定負債合計	3,858	3,968
負債合計	22,483	22,186

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	15,099	16,030
自己株式	△657	△658
株主資本合計	43,472	44,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△369	△360
繰延ヘッジ損益	△2	13
為替換算調整勘定	△1,525	△1,251
その他の包括利益累計額合計	△1,898	△1,598
純資産合計	41,573	42,804
負債純資産合計	64,056	64,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	37,377	39,940
売上原価	19,452	20,276
売上総利益	17,925	19,664
返品調整引当金戻入額	—	3
返品調整引当金繰入額	62	—
差引売上総利益	17,862	19,667
販売費及び一般管理費	16,170	17,441
営業利益	1,691	2,226
営業外収益		
受取利息	27	25
受取配当金	24	24
持分法による投資利益	34	43
受取補償金	44	—
その他	79	59
営業外収益合計	211	154
営業外費用		
支払利息	4	0
為替差損	76	72
その他	46	39
営業外費用合計	126	111
経常利益	1,776	2,268
特別利益		
固定資産売却益	4	—
負ののれん発生益	192	—
特別利益合計	196	—
特別損失		
本社移転費用	152	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	65	—
特別損失合計	217	—
税金等調整前四半期純利益	1,755	2,268
法人税、住民税及び事業税	507	816
法人税等調整額	△100	△6
法人税等合計	406	810
少数株主損益調整前四半期純利益	1,349	1,458
少数株主利益	4	—
四半期純利益	1,344	1,458

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,349	1,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△221	8
繰延ヘッジ損益	1	16
為替換算調整勘定	△372	271
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	2
その他の包括利益合計	△599	300
四半期包括利益	750	1,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	745	1,758
少数株主に係る四半期包括利益	4	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,755	2,268
減価償却費	559	501
貸倒引当金の増減額(△は減少)	35	19
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	4
返品調整引当金の増減額(△は減少)	62	△3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	84	87
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4	—
受取利息及び受取配当金	△52	△50
支払利息	4	0
売上債権の増減額(△は増加)	△569	△431
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61	△218
仕入債務の増減額(△は減少)	△564	△865
その他	△205	502
小計	1,056	1,814
利息及び配当金の受取額	52	50
持分法適用会社からの配当金の受取額	53	21
利息の支払額	△4	△0
法人税等の支払額	△822	△737
営業活動によるキャッシュ・フロー	335	1,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	235	262
定期預金の預入による支出	△340	△200
有形固定資産の取得による支出	△318	△739
無形固定資産の取得による支出	△90	△69
投資有価証券の取得による支出	△5	△4
投資有価証券の償還による収入	100	—
子会社株式の取得による支出	△97	—
その他	22	65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△495	△685
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50	—
配当金の支払額	△527	△527
自己株式の取得による支出	△9	△0
その他	△39	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△527	△584
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117	26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△803	△94
現金及び現金同等物の期首残高	14,783	17,975
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,979	17,880

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,502	8,857	17	37,377	—	37,377
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,502	1	4	1,508	△1,508	—
計	30,005	8,858	21	38,885	△1,508	37,377
セグメント利益又は損失	1,347	488	△114	1,720	△29	1,691

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△29百万円には、セグメント間取引消去△32百万円、棚卸資産の調整額3百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,090	11,839	9	39,940	—	39,940
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,331	22	—	1,354	△1,354	—
計	29,422	11,862	9	41,294	△1,354	39,940
セグメント利益又は損失	1,403	915	△105	2,213	12	2,226

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額12百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、棚卸資産の調整額16百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

区分	前第2四半期連結累計期間 平成23年3月期第2四半期		当第2四半期連結累計期間 平成24年3月期第2四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
アスレチックウェア 及びその関連商品	20,198	54.0	22,831	57.2	2,633	13.0
ゴルフウェア 及びその関連商品	14,858	39.8	14,946	37.4	87	0.6
アウトドアウェア 及びその関連商品	2,320	6.2	2,161	5.4	△158	△6.8
計	37,377	100.0	39,940	100.0	2,562	6.9

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	9,561	30	1,270	10,863
II 連結売上高				37,377
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	25.6	0.1	3.4	29.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・ロシア、スイス、スペイン等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	12,507	9	859	13,376
II 連結売上高				39,940
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	31.3	0.0	2.2	33.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・ロシア、スイス、スペイン等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。